

社会学委員会分科会の設置について

分科会等名： 社会学委員会 社会変動と若者問題分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	社会学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員または連携会員
3	設置目的	1990年代以後、成長型経済、長期安定雇用と完全雇用、企業福祉等の環境条件によって支えられた日本社会は大きな変動を遂げた。そのことは、工業化時代に確立した人々のライフコースや生活設計の転換を余儀なくさせたが、なかでも若者世代に及ぼした影響は大きかった。学校、家庭、カインシャのトライアングルで成り立ってきた成人期への移行の枠組みが崩壊し、若者期の様相を変えつつある。その過程でさまざまな現象が生じているが、若者の社会的地位の弱体化と生活基盤の不安定化はもっとも大きな変化である。非正規労働者の増加、若年ワーキングプア、ニートやひきこもり、家族形成の困難や家族崩壊、ポストク問題などは、近年に生じた新しい社会問題である。このような状況を踏まえて本分科会は、実態分析、社会政策、研究方法の角度から、社会学の立場で若者の現在と将来へアプローチする。
4	審議事項	1) 本テーマに関する研究成果の到達点と今後の展開について検討する。 2) 本テーマに関する研究および社会政策の発展のための教育・研究体制の改善を検討する。 3) 本テーマに関する啓発や社会的提言をする。
5	設置期間	期限設置 年 月 日～ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	

